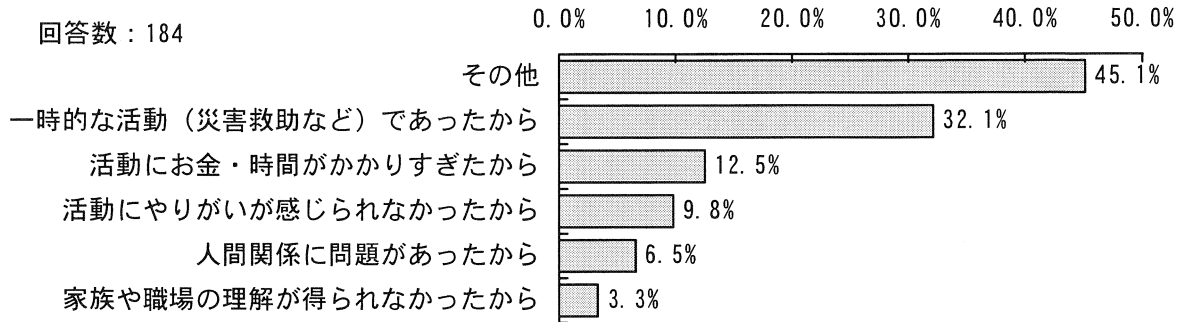


2-2 現在参加していない理由

問 14-1 問 14で「4. 参加したことはあるが、現在は参加していない」と答えた方にお聞きします。現在参加していない理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

ボランティア活動に「参加したことはあるが、現在は参加していない」方の内、現在参加していない理由は「その他」が45.1%で最も多く、次いで「一時的な活動（災害救助など）であったから」（32.1%）、「活動にお金と時間がかかりすぎたから」（12.5%）となっている。「その他」には、「高齢だから」（17人）、「仕事と両立しないから」（15人）、「病気等身体上の問題があるため」（13人）等がある。

図 現在参加していない理由（複数回答）



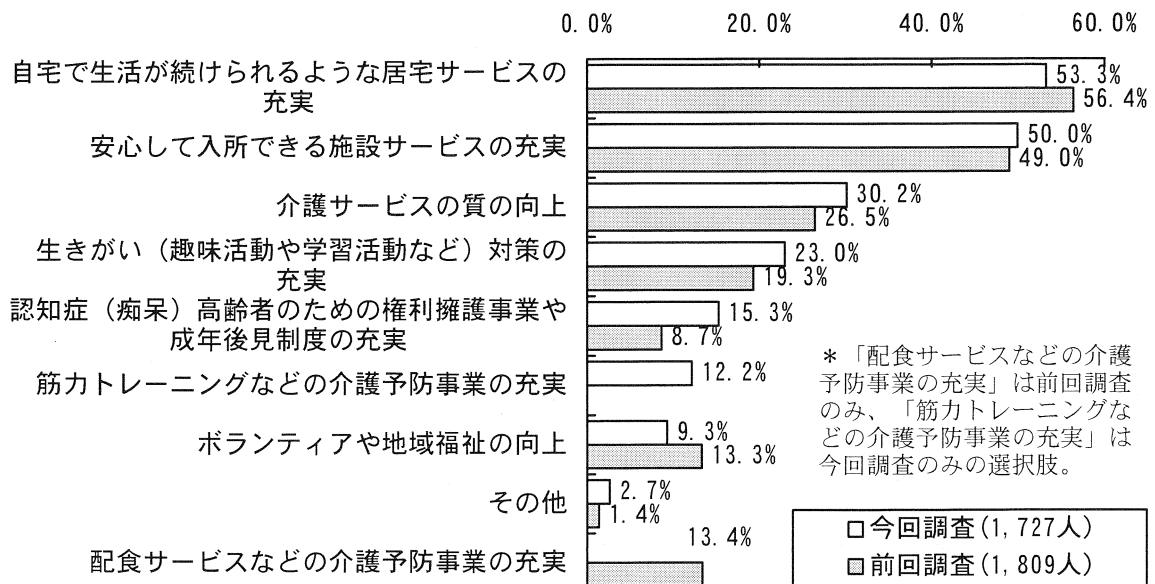
3. 介護保険について

3-1 重要と思う介護保険事業や老人保健福祉施策

問 15 次期計画に盛り込むべき本市の介護保険や老人保健福祉施策について何が重要と思いますか。【あてはまるもの2つに○】

重要と思う介護保険事業や老人保健福祉施策は、「自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実」が53.3%で最も多く、次いで「安心して入所できる施設サービスの充実」（50.0%）、「介護サービスの質の向上」（30.2%）となっている。

図 重要と思う介護保険事業や老人保健福祉施策（2つ以内で複数回答）



平成14年度の「奈良市政についての世論調査」^①と比較すると、回答の多い順に上位4位までは「自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実」と「安心して入所できる施設サービスの充実」と「介護サービスの質の向上」と「生きがい対策の充実」で同じであるが、上位5位は、前回調査では「配食サービスなどの介護予防事業の充実」で、今回の調査では介護予防面で「筋力トレーニングなどの介護予防事業の充実」が選択肢にあったものの、「認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実」となっている。さらに、今回調査の上位4位までをみると「安心して入所できる施設サービスの充実」（1.0ポイント増）と「介護サービスの質の向上」（3.7ポイント増）と「生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実」（3.7ポイント増）で前回調査よりもポイントが増加している。

年齢別に回答の多い順にみると、「20～29歳」と「40～49歳」では「安心して入所できる施設サービスの充実」が最も多く、次いで「自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実」となっているが、他の世代では逆転している。「自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実」は「65歳以上」が59.2%で最も高くなっており、「安心して入所できる施設サービスの充実」は「40～49歳」が57.6%で最も高くなってきている。

表 年齢別 重要と思う介護保険事業や老人保健福祉施策（2つ以内で複数回答）

	有効回答数	回答の多い順の上位				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳	162	安心して入所できる施設サービスの充実 43.8%	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 42.0%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 38.3%	介護サービスの質の向上 29.6%	認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実 16.7%
30～39歳	220	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 47.7%	安心して入所できる施設サービスの充実 45.9%	介護サービスの質の向上 35.0%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 25.9%	認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実 15.0%
40～49歳	245	安心して入所できる施設サービスの充実 57.6%	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 53.1%	介護サービスの質の向上 31.8%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 19.6%	認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実 17.6%
50～59歳	337	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 55.5%	安心して入所できる施設サービスの充実 54.9%	介護サービスの質の向上 30.0%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 20.2%	認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実 15.1%
60～64歳	225	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 52.4%	安心して入所できる施設サービスの充実 50.7%	介護サービスの質の向上 27.1%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 27.1%	認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実 15.6%
65歳以上	451	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 59.2%	安心して入所できる施設サービスの充実 46.8%	介護サービスの質の向上 28.8%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 17.3%	認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実 14.0%

① 以降は「前回調査」と表記する。

地域別に回答の多い順にみると、「南部地域」を除く全ての地域で「自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実」が最も多く、次いで「安心して入所できる施設サービスの充実」となっているが、「南部地域」はその逆となっている。また、介護予防で国が注目している「筋力トレーニングなどの介護予防事業の充実」は、「都祁地域」が16.1%で最も高く、次いで「北部地域」(13.6%)、「西部地域」(13.0%)となっている。

表 地域別 重要と思う介護保険事業や老人保健福祉施策（2つ以内で複数回答）

	有効回答数	回答の多い順の上位				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
西部地域	769	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 53.2%	安心して入所できる施設サービスの充実 52.1%	介護サービスの質の向上 29.1%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 19.8%	認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実 16.8%
北部地域	125	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 52.8%	安心して入所できる施設サービスの充実 48.8%	介護サービスの質の向上 31.2%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 25.6%	筋力トレーニングなどの介護予防事業の充実 13.6%
中部地域	114	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 61.4%	安心して入所できる施設サービスの充実 46.5%	介護サービスの質の向上 28.9%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 24.6%	認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実 13.2%
中央市街地	414	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 54.6%	安心して入所できる施設サービスの充実 46.9%	介護サービスの質の向上 33.1%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 26.6%	認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実 14.3%
南部地域	122	安心して入所できる施設サービスの充実 53.3%	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 48.4%	介護サービスの質の向上 28.7%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 19.7%	認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実 13.9%
東部地域	26	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 50.0%	安心して入所できる施設サービスの充実 46.2%	介護サービスの質の向上 30.8%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 30.8%	認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実 15.4%
月ヶ瀬地域	9	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 55.6%	安心して入所できる施設サービスの充実 44.4%	介護サービスの質の向上 44.4%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 44.4%	認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実 11.1%
都祁地域	31	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 58.1%	安心して入所できる施設サービスの充実 51.6%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 29.0%	ボランティアや地域福祉の向上 19.4%	介護サービスの質の向上 16.1%

表 地域別 重要と思う介護保険事業や老人保健福祉施策（2つ以内で複数回答）

地域	合計	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実	安心して入所できる施設サービスの充実	介護サービスの質の向上	ボランティアや地域福祉	筋力トレーニングなどの介護予防事業の充実	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実	認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実	その他
全体	1,727	53.3%	50.0%	30.2%	9.3%	12.2%	23.0%	15.3%	2.7%
西部地域	769	53.2%	52.1%	29.1%	9.9%	13.0%	19.8%	16.8%	3.4%
北部地域	125	52.8%	48.8%	31.2%	10.4%	13.6%	25.6%	13.6%	3.2%
中部地域	114	61.4%	46.5%	28.9%	5.3%	11.4%	24.6%	13.2%	2.6%
中央市街地	414	54.6%	46.9%	33.1%	8.9%	9.9%	26.6%	14.3%	1.2%
南部地域	122	48.4%	53.3%	28.7%	9.0%	11.5%	19.7%	13.9%	4.1%
東部地域	26	50.0%	46.2%	30.8%	7.7%	7.7%	30.8%	15.4%	0.0%
月ヶ瀬地域	9	55.6%	44.4%	44.4%	0.0%	0.0%	44.4%	11.1%	0.0%
都祁地域	31	58.1%	51.6%	16.1%	19.4%	16.1%	29.0%	12.9%	3.2%

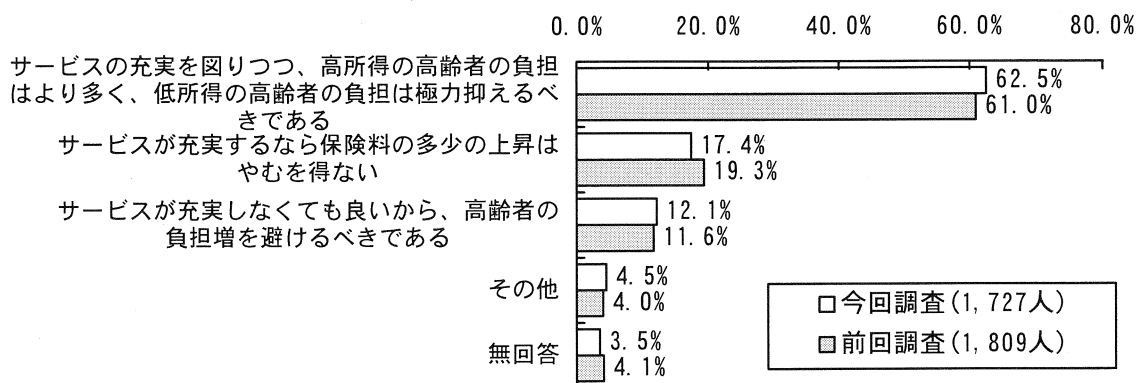
3-2 65歳以上の介護保険料とサービスに対する考え

問 16 次期計画期間中の65歳以上の方の介護保険料について、どれが妥当だと思いますか。
【あてはまるもの1つに○】

65歳以上の介護保険料とサービスに対する考えは、「サービスの充実を図りつつ、高所得の高齢者の負担はより多く、低所得の高齢者の負担は極力抑えるべきである」が62.5%で最も多く、「サービスが充実するなら保険料の多少の上昇はやむを得ない」(17.4%)、「サービスが充実しなくてもよいから、高齢者の負担増を避けるべきである」(12.1%)を大きく上回っている。

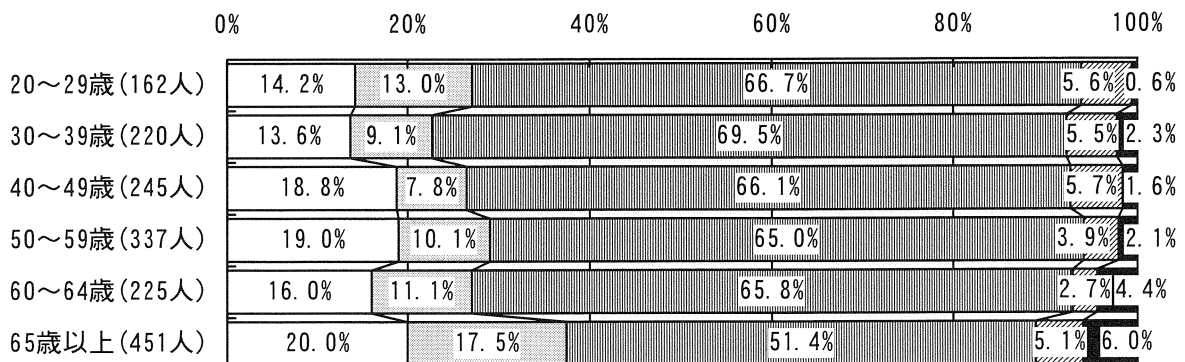
前回調査と今回調査の傾向は同様であるが、「サービスの充実を図りつつ、高所得の高齢者の負担はより多く、低所得の高齢者の負担は極力抑えるべきである」は前回調査(61.0%)を1.5ポイント上回り、「サービスが充実するなら保険料の多少の上昇はやむを得ない」は前回調査(19.3%)を1.9ポイント下回っている。

図 65歳以上の介護保険料とサービスに対する考え



年齢別にみると、「サービスの充実を図りつつ、高所得の高齢者の負担はより多く、低所得の高齢者の負担は極力抑えるべきである」は「30～39歳」が69.5%で最も高く、次いで「20～29歳」(66.7%)となっており、「サービスが充実するなら保険料の多少の上昇はやむを得ない」は「65歳以上」が20.0%で最も高く、次いで「50～59歳」(19.0%)、「40～49歳」(18.8%)となっている。

図 年齢別 65歳以上の介護保険料とサービスに対する考え



サービスが充実するなら保険料の多少の上昇はやむを得ない
 サービスが充実しなくてもよいから、高齢者の負担増を避けるべきである
 サービスの充実を図りつつ、高所得の高齢者の負担はより多く、低所得の高齢者の負担は極力抑えるべきである
 その他
 無回答